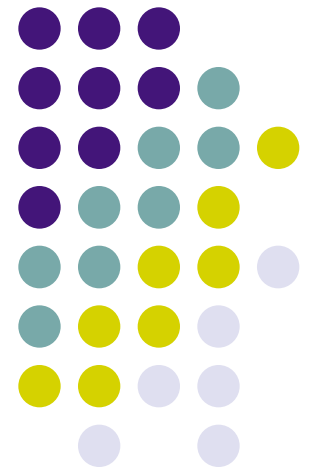


方言調査 7

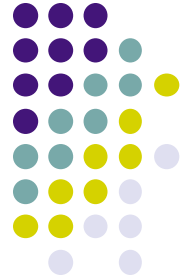
サンフランシスコ州立大学／国立国語研究所
南 雅彦



大阪人が共通語と思い込んでいる 『隠れ関西弁』



- 大阪弁「おしぴん」
 - 「画鋏(がびよう)」の関西での表現形。
- 「ペケ」というあなたが「バツ」
- 「なおしといて」vs. 「しまっておく」
- 音声交替（無声歯茎硬口蓋摩擦音 → 硬口蓋音）
 - 「七(シチ)」「質(シチ)」[ʃ] → 「ヒチ」[ç]
 - 「布団を敷く」 → 「布団をヒク」
- [m]音（鼻音 voiced bilabial nasal）と[b]音（有声両唇摩擦音 voiced bilabial plosive）の音声交代現象
 - コムラガエリ → コブラガエリ
 - ヘミ（上代） → ヘビ



その他の方言

	ご当地使用例
「疲れた」 ああ、 <u>疲れた</u> ！	
「みにくい」 顔は <u>みにくい</u> けど、心は非情にきれいだね。	
「かわいそう」 <u>かわいい</u> 娘をからかうのは、 <u>かわいそう</u> じゃないか。	
「居る」	
「七日」	
「明後日の翌日」	
「借りる」	

その他の方言

- 「疲れた」という意味で「コワイ」を使用している地域では新しい「恐ろしい」という意味の「コワイ」が入ってきても広がらない。
- 同音衝突 → 相補分布

「コワイ」＝「疲れた」

「コワイ」＝「疲れた」

「コワイ」＝「疲れた」

恐ろしい

オッカナイ

コワイ

オソロシイ・
オトロシイ

その他の方言

- ・「疲れた」という意味で「コワイ」を使用している地域ではが新しい「恐ろしい」という意味の「コワイ」が入ってきても広がらない。
- ・同音衝突 → 相補分布

「コワイ」=「疲れた」

恐ろしい

- ・「オソロシイ」は平安時代の古典。
- ・「コワイ」も「オソロシイ」も関西から上品な言葉として広まった。
- ・「疲れた」という意味での「コワイ」は「強い・堅い」(御強)
- ・ コワイ(新しい) → オトロシイ → オソロシイ → オゾイ・エゾイ(古い)

「コワイ」=「疲れた」

オッカナイ

コワイ

オソロシイ・
オトロシイ



状態の表現

Vている → Vとる(Vとおる)

食べ + ている／ておる／とる
読ん + でいる／でおる／どる

歴史的に見た場合、「アル」が存在一般を表す動詞であったのに対し、「オル」は伝統的な西日本の方言形。大阪府内では「イル・イテル・オル・イヨル」で表現。

居る イル・**オル**・**アル**

・桜花 今ぞ盛りと 人は云へど

我はさぶしも 君とし**あらねば**(万葉集)

・丁寧体：家に居ります。(上方の言葉が東京に入った)

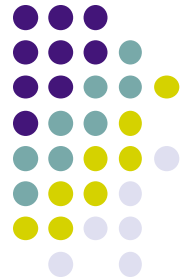
・紀伊半島の「**アル**」は、古い用法の残存(半島には言葉が閉じ込められやすい。古語は辺境に残る。)

「居る」

「七日」

「明後日の翌日」

「借りる」



その他の方言

					ご当地使用例
「疲れた」 ああ、 <u>疲れた</u> ！					
「みにくい」 顔は <u>みにくい</u>					
今日 あした あさって しあさって					
「かわいい」	1	2	3	4	〔西日本〕
かわいい奴		あした	あさって	やのあさって	しあさって
		1	2	3	4 〔東日本〕
「居る」	相手の出身地を知らずに「 シアサッテ に会おう」というのは危険				
「七日」	「隣接意味への滲み出し」(小林 2006)				
「明後日の翌日」					
「借りる」					

ネオ方言

方言と標準語が接触すること
によって生じた新たな混交体系



- 方言への対応置換

- キワセヌ → キヤセン → キヤヘン
キエヘン → ケーヘン → コーヘン
● Vない → Vへん 来ない

- デケヘン・デキヒン → デキヘン できない

- オケヘン・オキヒン → オキヘン おきない

- 書ケヘナンダ → 書ケヘンカッタ → 書カ~~ン~~カッタ
書か~~な~~かった

ネオ方言

方言と
によつ

kaka + hen

ア段接続

deki + hen

イ段接続

kake + hen

エ段接続

deke + hen

工段接続

逆行同化

- 方言への対応置換

- キワセヌ → キヤセン

- キエヘン → ケーヘン

- Vない → Vへん

コーヘン

来ない

- デケヘン・デキヒン → デキヘン できない

- オケヘン・オキヒン → オキヘン おきない

- 書ケヘナンダ → 書ケヘンカッタ → 書カ^ンカッタ
書か^なかった



ネオ方言

方言と標準語が接触すること
によって生じた新たな混交体系



- 方言への対応置換

- 昨日、教えたヤンか？
昨日、教えたじゃないか

- ソヤサカイ → ソヤカラ → ダカラ
だから

- アキマヘンガナ → アカンヤナイカ → アカンヤン
だめじゃないか だめじゃん



ネオ方言

方言と標準語が接触すること
によって生じた新たな混交体系

新方言(ネオ方言: neo-dialect)新たな方言語形

若い世代に向けて増えている(新方言: 井上)

- ① 若い世代に向けて使用者が多くなりつつあり、
- ② 使用者自身も方言扱いしている
- ③ 共通語(標準語)では使わない言い方

方言と標準語の接触・干渉

- ① 共通語・標準語が背後にある新方言を「ネオ方言」と呼ぶ
- ② 実際の運用場面、発話の文脈から帰納的に行なう(真田)